

平成 24 年 10 月 17 日、福山ニューキャッスルホテルにて、
第 23 回東部修道会 同窓会が開催致しました。

田原校長、貫名副会長、藤田雄山元広島県知事にもご出席頂き、
今回講師をお願いしたのが、高校 36 回卒の酒井磨さんです。

酒井さんは、現在プロドラマーとして東京、福山で活躍されています。

今回は、今までとは趣向を変え、全員での参加が出来ながら、
初めて同窓会に来てもらった同窓生が、次年度も参加したくなるような
会にしたいと考えていた為、参加頂いた方々に『楽しい』と感じてもらわなければなりま
せん。その点でも、酒井先輩はとても心強く感じていました。

会は、品川東部修道会会長と、貫名同窓会副会長のご挨拶を頂き、



いよいよ酒井さんの講演です。

はじめに、酒井さんの挨拶の後、早速不思議な楽器が出てきました。
アフリカの『ジャンベ』という太鼓で、その時の気温・湿度などによって
音色が変わるといふ繊細な楽器です。

まずは、酒井さんに手本として演奏して頂いた後、会場にも 20 個ほどの太鼓が配られまし
た。そして、前に出て一緒に演奏して頂ける方を募ったところ、
貫名本部同窓会副会長と、24 回卒の日野さんが演じていただけることになりました。



酒井さんの手本を真似て、ゆっくりな音、早い音、大きな音、小さな音、会場の多くの方で様々なリズムを奏でていきます。

初めて聞くにもかかわらず、会場の皆で奏でた音は驚くほど揃っていて、さすが修道同窓会と、酒井さんからもお褒めの言葉を頂きました。

皆での演奏の後は、田原校長の挨拶と、藤田雄山前県知事の乾杯の音頭で懇親会です。



高校 30 回卒以降の同窓生で、初参加の方も多くいらっしゃいました。



会が進むにつれ、こんな光景も。40 回以上離れている大先輩ともお話が出来るのは、修道ならではの素晴らしい文化です。



最後は恒例の円陣を組み、校歌で締めです。

新しい試みが受け入れられるのか心配でしたが、多くの先輩方から良かったと言って頂け、ホッとしました。これからも同窓の繋がりが守れ、参加者に楽しんで頂けるよう、先輩方と一緒に頑張りたいと思います。

